

奈良県網の目行進5日目。

河戸憲次郎（奈良県平和委員会理事長兼奈良県原水協事務局長）、西岡知宏・中嶋潤二（奈良民医連）、今井光子（前県会議員）は、午後の曽爾村・御杖村に参加。4人。

## 宇陀市・庁舎前集会と行進（10:00）

総務課長、議会事務局総務課長、職員2人が庁舎前集会に参加。地元の八木議員の司会で庁舎前集会を開始。庁舎前集会、地元の参加者は10人。奈良県実行委員会を代表し河戸憲次郎が、挨拶と要請を行う。大門一精・総務課長が、歓迎の挨拶。地元の池田さんが挨拶。そのあと、宇陀市長・宇陀市議会議長記名のペナントの贈呈。宇陀市・宇陀市議会からの協賛金贈呈。

行進団が出発。市役所を出発し、約2キロの行程、住宅内公園前まで。宣伝カーの先導で雨の中を元気よく行進し終了。

## 曽爾村要請（13:15）

副村長、議長が応対。職員の案内で応接室に入ると、副村長、議長がすでに待機されており、起立で要請団を出迎え。名刺交換のあと、すぐに副村長からペナントと募金の贈呈がありました。土肥和久・副村長「平和、核兵器の情勢について教えてください」とのお言葉があり、要請団の話熱心に聞いていただきました。土肥和久・副村長「移住の施策をすすめ定住率は70～80%。なんとか1000人ほどの人口を維持したい。『にぎやかな過疎』をキャッチフレーズに村の存続に努力している」。松本喬・議長「若い人の発想に期待している。議会決議については検討します」。

## 御杖村要請（14:15）

議長と総務課長が応対。村長は体調不良で不在。葛城昌俊・議長「今年の2月から議長に。議員は現在6人（定数は8）。住民の声を村政に反映させるには議員はもっと多いほうがよい。村では給食費の無料を以前から実施。小さな村では注目されないが……。議会決議の件は相談させていただきたい。議員全員に資料の配布はできます」。

これで5日目は終了。5日間で18自治体を訪問。明日は、桜井市、明日香村、高取町です。（通信・河戸）



宇陀市



宇陀市



曾爾村



曾爾村



御杖村



御杖村